

宮城県感染症発生動向調査情報(第26週)

宮城県【平成27年07月02日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015.6.22 ~ 6.28 ・ 第26週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第23週	第24週	第25週	第26週
水痘		8 0.80	2 0.40				8 4.00	14 0.52	32 0.54	974	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎		2 0.20	1 0.20					6 0.22	9 0.15	202	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	55 11.00	37 3.70	12 2.40	19 9.50	22 7.33	19 3.80	5 2.50	213 7.89	382 6.47	12,872	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	16 3.20	41 4.10	25 5.00	7 1.40	4 0.80	4 0.80	4 0.80	108 4.00	201 3.41	856	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑	3 0.60	6 0.60	7 1.40		1 0.33	5 1.00	6 3.00	21 0.78	49 0.83	1,283	○→	○→	○→	○
突発性発しん	6 1.20	9 0.90	8 1.60		3 1.00	4 0.80	1 0.50	30 1.11	61 1.03	918	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		7 0.70	1 0.20		1 0.33	3 0.60		12 0.44	24 0.41	84	→	→	→	
インフルエンザ	2 0.25							2 0.02	19,598		レ→	○→	レ→	
咽頭結膜熱	1 0.20	16 1.60	2 0.40	1 0.50	2 0.67	33 6.60		20 0.74	75 1.27	720	◎→	◎→	◎→	◎
流行性角結膜炎		4 1.33	1 1.00					6 1.00	11 0.92	88	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45 9.00	18 1.80	6 1.20	1 0.50	2 0.67	24 4.80	1 0.50	79 2.93	176 2.98	4,159	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00					5 5.00	1 0.20	7 0.58	184	→	→	→
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症								3 0.11	3 0.05	346	→	→	→	
拡大 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	11	2	3			2	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病		1					7						
	不明発疹症							3	宮城県保健環境センターのホームページ http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html					
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									76				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	年齢別 (%)										総数 (人)	
		0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)		80歳以上 (%)
2015年 第24週		0.0	41.9	41.9	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	31
第25週		28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7
第26週		0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2

インフルエンザ定点
小児科定点と内科
定点を合わせたも
ので、県全体で95
定点となりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第24週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。RSウイルス感染症: 報告数は278例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(2.46)、島根県(1.52)、北海道(1.34)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(7.79)、愛媛県(6.03)、北海道(5.04)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県(14.86)、愛媛県(12.97)、山形県(12.93)が多い。水痘: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では大分県(1.44)、富山県(0.79)、滋賀県(0.78)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(13.83)、香川県(8.50)、鳥取県(6.79)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では滋賀県(2.56)、福島県(2.48)、埼玉県(2.25)が多い。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では青森県(1.17)、宮城県(0.83)、岐阜県(0.80)が多い。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。26都道府県から94例報告があり、年齢別では0歳(10例)、1~4歳(63例)、5~9歳(16例)、10代(2例)、20代(1例)、40代(1例)、70歳以上(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

※ 男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 男性1名
 - 大崎管内 女性1名(第24週)
 - 登米管内 男性1名
 - 石巻管内 男性1名
 - 仙台管内 女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
 - 仙南管内 女性1名
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O26) 仙南管内 女児*1名
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 仙台管内 女性1名
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 仙台管内 男性1名
 - 侵袭性肺炎球菌感染症 仙南管内 男児*1名
 - 水痘(入院例) 石巻管内 男性1名
 - 梅毒 仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- [手足口病] 大崎管内で警報値を超えた。
- [伝染性紅斑] 気仙沼管内で警報継続中。
- [咽頭結膜熱] 石巻管内で警報継続中。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎] 仙南管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
病原体検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定 中 間 報 告		
	第23週採取分 (6.1~6.7)	第24週採取分 (6.8~6.14)	第25週採取分 (6.15~6.21)
エンテロウイルス	1件	1件	2件
サトメカロウイルス	0件	1件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	10件	11件	11件
ヒトメタニューモウイルス	1件	1件	1件

※ 仙台医療センターウイルスセンターでは、パラインフルエンザウイルス3型の分離が多い状態が継続しています。

[手足口病]

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行します。全国的に患者報告数が増加しており、県内でも大崎、仙台(若林支所)管内で患者報告数が警報値を超えているので注意して下さい。